

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やすらぎ

## 目標達成計画書

作成日: 平成 24 年 01 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	隣接小規模多機能ホームと連携し、避難訓練を実施し、協力体制が出来ているが、夜間などの、非常災害時を想定し、地域住民の協力体制を確立していく。	運営推進会議委員や、家族に協力を要請し、夜間を想定した避難訓練に、協力参加してもらい、非常災害時に慌てなくて、安全に利用者を避難、誘導出来るように検討していく。	12ヶ月
2		地域密着型グループホームの拠点として、発展させていく	地域住民の高齢化に伴い、悩みや心配事を気軽に話し合える、環境を整え、信頼関係を築いていく。	地域の行事や、公民館活動に職員が、積極的に参加したり、運営推進会議委員を通じて、地域の情報を把握し、積極的に相談や、協力関係を確立していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。